導入検討プラン 07 / 供給と運営を支える

協力会社と、施工の準備をそろえる

建設・住宅・施工

施工体制や協力会社への支援を既に進めながら、一工程の準備と育成を具体化するとき。顧客への約束を、現場の人数・時間・仕事量と照らします。

> 目指す仕事の状態
>
> 関係者が必要な情報を適切な時点で受け渡し、新任者が担当できる仕事と、指導者が確認する範囲がそろう。

当社が担う仕事

01 準備と受け渡しを確認する

一つの現場で、顧客への確認、元請の手配、協力会社の準備がどこでつながるかを整理します。

02 育てる条件をそろえる

新任者に任せる作業と相談条件を明確にし、指導者の時間・仕事量を責任者と確かめます。

03 現場と採算から見直す

準備・引継ぎの品質とやり直しを振り返り、指導の負担と協力会社の採算も確認します。

最初に試す一件

これから着工する一現場の準備を選び、必要な確認、担当、引継ぎの時点をそろえて運用します。

導入と、実践後の確認

最初に確かめること

- どの準備の遅れが、誰の仕事に影響しましたか。
- 元請・協力会社・顧客が、それぞれ必要とする情報は何ですか。
- 協力会社側で、指導の時間と仕事量を調整できますか。

社内に残すもの

- 元請・協力会社・顧客の情報整理
- 新任者の担当範囲と指導計画
- 準備品質・指導負担・採算の確認記録

実践後に確かめること

- 準備・引継ぎで必要な情報がそろったか
- やり直しの内容と、その発生条件
- 指導者の負担と協力会社の採算

一緒に進める人と役割

元請・施工責任者	工期・人員・契約の条件と、関係者の役割を決めます。
協力会社・指導担当	任せられる仕事と指導時間を確認し、実案件で試します。
当社	一工程の実務と育成の条件を整理し、記録と見直しを支えます。

実施条件と、役割の範囲

元請と協力会社の双方が参加し、実際の準備と指導に使える時間を確保します。 施工・安全の判断は責任者が担います。価格・工期・人員が主な制約なら、その調整を先に検討します。

支援を組み立てる根拠

メーカーと販売店の役割設計、実務課題と上司支援の知見を用います。施工と契約の条件は、現場責任者と確認します。

実務の確認・設計・実践支援の範囲に応じ、期間と費用をご提案します。

ご相談：requestgroup.jp/request